

## 交付決定を受けた主な事業名と交付決定額は



安東伸昭

**地方創生**  
**問** 内閣府から交付決定を受けた、主な事業名と交付決定額は。  
**答** 津山市が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る事業でこれまで交付決定を受けた事業は9事業で、総額は今後の交付予定額も含めて8億5,573万円。主な事業は平成28年度から、地域産業の活性化を図る「イノベーションプラットフォーム事業」(5年間)、平成29年度から、滞在型観光とエリア



観光産業で津山市を活性化!

**【その他の質問項目】**  
◆図書貸出カードの統一化  
◆ワンストップ窓口について

## 市長の政治姿勢

**政治姿勢**  
**問** 市長公約の報酬30%・退職金50%カットは本人の意思と決意で決めたもので現状は。  
**答** 本年3月議会では報酬15%・退職金25%カットを提案し、公約は守っている。  
**問** 市の大事な方針は審議会などへ委ねているのか。  
**答** 最終的には私(市長)が判断して行っている。  
**問** 市長の顔がなぜ議場と市中とは違うのか。  
**答** 決して指摘のようなことはない。理解の程を。



市議会  
松本義隆



市政の最終判断者は?!

**問** 来年の市長選に出馬表明したが最初に出馬したときのことを覚えているか。  
**答** 市政運営の見直しが必要であるとの思いから立候補した。  
**問** 私の記憶では政策ではなく他に誰も出る者がいないなら私が出ると言ったのが始まりでは。  
**答** 任期を全うするのが私(市長)の務めである。

## 若者や友人で要介護者のサポートを



市民と歩む会  
村田隆男

**空港津山道路**  
**問** 空港津山道路  
**問** 有料道路の障害者割引制度で事前登録の対象車両を障害者一人一台ではなく、家族用と介護者用の二台にするよう市長会を通じて国に要望しては。  
**答** 障害のある人が住み慣れた地域で社会と関わりを持ちながら能力を発揮し、生きがいを持って安心して生活できるよう障害者福祉の一層の向上と支援体制の充実に努める。



**津山南道路の事業費は。用地取得率は。**  
**答** 津山南道路、津山市側は津山市二宮から皿まで、総事業費は約220億円。昨年度までに約86億円投資され、本年度は3億3,200万円。用地取得率は面積ベースで約85%と聞いている。

## 子どもの貧困対策連絡会議設置へ



日本共産党  
津山市議員  
美見みち子

**子どもの貧困**  
**問** 子どもの貧困対策として、生活状況アンケート調査の結果を受けての取り組みは。  
**答** アンケートでひとり親家庭の約4分の3が養育費をもらっていないと判明。児童扶養手当受給者が相手と一対一で養育費の協議や請求を行うのは正当な理由があっても困難が伴うため、弁護士費用を補助(80%で上限10万円)する養育費確保支援事業を4月から実施している。



**【その他の質問項目】**  
◆就学援助について  
◆防犯・防災対策について

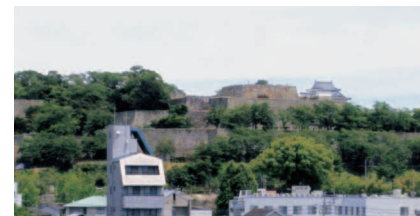
**重点的な取り組みは。**  
**答** 行政と保育・教育機関や民間支援団体等で構成する子どもの貧困対策連絡会議を設置する準備を進めている。市民の意識を高めてもらうための講演会なども開催したい。

## 津山城石垣を後世にどのように伝承する



清流の会  
津本憲一

**文化**  
**問** 名城の条件として石垣の壮大さは天守以上に日本近世城郭を特色づけるもので、天守の優美さと石垣の荘重さが城の大きな魅力である。全国の名城石垣は熊本城石垣・金沢城石垣・津山城石垣が歴史紀行作家の中山良昭氏の著書に紹介されている。津山城石垣をユネスコ世界遺産にエントリースるために熊本市・金沢市・津山市の三市名城石垣交流が必要と考えるがどうか。



津山城の石垣は大きな魅力

**答** 二つの城との交流について、熊本城は震災復興に向け長期的な修復事業を行っておりそれぞれの事情や想いもある。世界遺産については、審査基準が非常に厳しく相当ハードルが高いものと思われる。

## 国との関わり方

**政治姿勢**  
**問** 地方都市の生き残りは、国の施策と交付税や補助金の獲得をなくしては成り立たないと考えるが、国との関わり方を市長はどう思うか。  
**答** 市政運営を円滑に進めるうえでは、あらゆる分野において、国の支援施策を積極的に活用し、補助金・交付金の確保に努めなければならないと考えている。このため、現在実施している岡山県東京事務所への職員派遣などを通じて、国・県との調



津山自由民主倶楽部  
竹内邦彦



**【その他の質問項目】**  
◆安心・安全のまちづくり

整や情報収集を行うとともに県選出の国会議員をはじめとした関係者とのつながりを深める中で、人的ネットワークの構築を図っていきたい。